

1. 今春の概要『高温・多雨・並照』

「4年連続の暖かい春。記録的な積雪も雪解け進む」

3月上旬は低気圧の影響で雨や雪の降った日が多く、3月9日はこの時期としては記録的な大雨となり各地で融雪洪水害が発生した。また、5月上旬はオホーツク海高気圧の影響で、旬平均気温は平年より低くなった。その他の時期は高気圧に覆われる日が多く、春の気温は4年連続で平年より高くなった。

(1) 気温

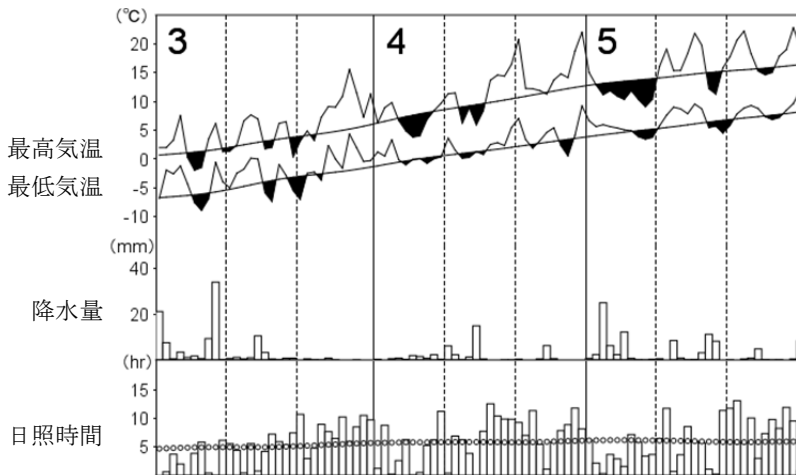
春は、北からの寒気の影響が小さく、平均気温の平年偏差は+1.2℃とかなり高かった。特に3月下旬は、+2.9℃と1961年の統計開始以来最も高くなった。5月上旬はオホーツク海高気圧の影響で平年偏差は-1.0℃と低くなった。

(2) 降水量

3月上旬の降水量は、冬型の気圧配置や低気圧の影響でかなり多く、平年比が462%と1961年の統計開始以来最も多くなった。その後は平年並または平年より少なく経過したが、5月上旬から中旬にかけては低気圧の影響で降水量が平年より多く、春の平年比は117%と平年より多かった。

(3) 日照時間

各月ともに上旬は低気圧や寒気の影響で日照時間が平年よりかなり少なく、特に3月上旬は44%と1961年の統計開始以来最も少なくなった。その他の時期は高気圧に覆われる日が多かったため、平年並または平年より多く経過し、春の平年比は101%と平年並だった。

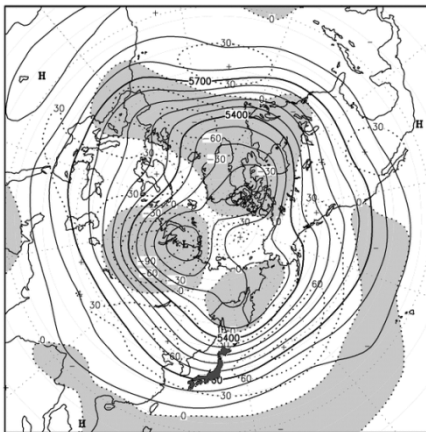


第1図 2018年の春(3~5月)の日々の気象経過(北海道22地点平均)

2. 大気の流れの特徴

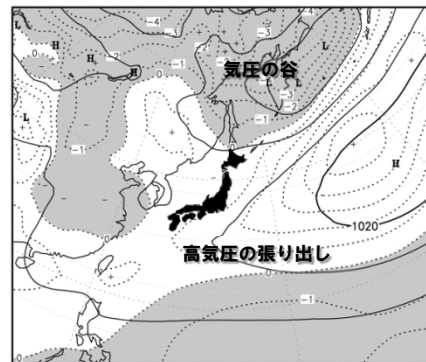
500hPa天気図：東シベリア付近は負偏差となったが、日本付近は東西に広く正偏差に覆われた。このため、北からの寒気の流れ込みが弱く、北海道付近は暖かい空気に覆われた。

地上天気図：オホーツク海から東シベリアにかけては、気圧の谷となり平年より気圧が低かった。一方、日本付近は日本の東から高気圧が張り出し平年より気圧が高かった。このため、北海道付近は南からの暖かい空気が入りやすかった。



第2図 a 春平均の500hPa天気図

実線：等高度線(m)、点線：高度の平年偏差(m)
陰影部は、平年より高度の低い負偏差の領域を示す。
この領域では平年より気温が低い傾向がある。
日本の上空では、風は等高度線に沿って西から東に吹いている。等高度線が南北に波打っている状態は偏西風が進行していることを、等高度線の間隔が狭い所では偏西風が強いことを示す。

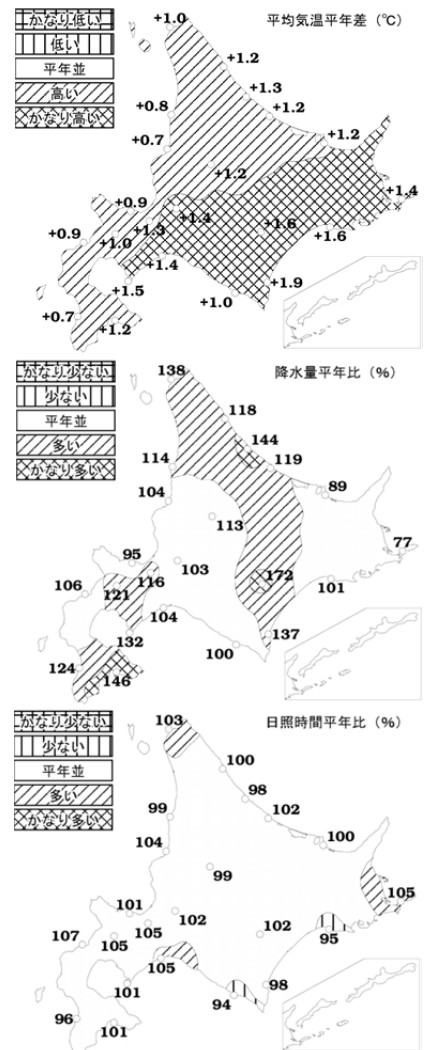


第2図 b 春平均の地上天気図

実線：等圧線(hPa)、点線：気圧の平年差(hPa)
陰影部は平年より気圧が低いことを示す。
この領域では、平年より気圧の谷や低気圧の影響を受けやすい。

第1表 北海道の主な22地点における春の平均気温、降水量、日照時間と平年差(比)

官署名	今春			平年偏差・平年比(階級)		
	気温 ℃	降水量 mm	日照時間 h	気温 ℃	降水量 %	日照時間 %
稚内	5.1	229.5	509.9	+1.0 (+)	138 (+)	103 (+)
北見枝幸	4.9	233.0	494.1	+1.2 (+)	118 (+)	100 (0)
羽幌	6.0	211.0	504.1	+0.8 (+)	114 (+)	99 (0)
雄武	4.7	203.5	504.1	+1.3 (+)	144 (++)	98 (0)
留萌	6.0	161.0	522.5	+0.7 (+)	104 (0)	104 (0)
旭川	6.4	188.5	506.9	+1.2 (+)	113 (0)	99 (0)
網走	5.2	140.5	537.9	+1.2 (+)	89 (0)	100 (0)
小樽	7.1	187.5	509.5	+0.9 (+)	95 (0)	101 (0)
札幌	8.0	218.0	548.6	+1.3 (+)	116 (+)	105 (0)
岩見沢	7.0	193.5	545.4	+1.4 (++)	103 (0)	102 (0)
帯広	6.9	314.0	618.8	+1.6 (++)	172 (++)	102 (0)
釧路	5.2	248.5	540.7	+1.6 (++)	101 (0)	95 (-)
根室	4.5	169.5	573.1	+1.4 (++)	77 (0)	105 (+)
寿都	7.0	194.5	508.0	+0.9 (+)	106 (0)	107 (0)
室蘭	7.2	297.0	573.0	+1.5 (++)	132 (+)	101 (0)
苫小牧	6.3	261.5	535.5	+1.4 (++)	104 (0)	105 (+)
浦河	6.0	245.0	536.4	+1.0 (++)	100 (0)	94 (-)
江差	8.0	291.5	457.0	+0.7 (+)	124 (+)	96 (0)
函館	8.0	312.0	542.8	+1.2 (+)	146 (++)	101 (0)
倶知安	5.7	284.0	503.6	+1.0 (+)	121 (+)	105 (0)
紋別	5.2	173.0	528.0	+1.2 (+)	119 (+)	102 (0)
広尾	6.5	500.0	536.6	+1.9 (++)	137 (+)	98 (0)
北海道22地点平均				+1.2 (++)	117 (+)	101 (0)
日本海側10地点平均				+1.0 (+)	113 (+)	102 (0)
オホーツク海側4地点平均				+1.2 (+)	118 (+)	100 (0)
太平洋側8地点平均				+1.5 (++)	121 (+)	100 (0)



第3図 春(3~5月)の平年差(比)の分布図

注) 括弧付きの値は欠測を含み、×は欠測を示す。

階級は、+は高い・多い(++はかなり高い・多い)、0は平年並、-は低い・少ない(--はかなり低い・少ない)

第2表 月別、旬別の全道および地域平均の平均気温、降水量、日照時間と平年差(比)と階級

(か→かなり、並→平年並 をそれぞれ示す。)

北海道全域

	3月上旬	3月中旬	3月下旬	3月	4月上旬	4月中旬	4月下旬	4月	5月上旬	5月中旬	5月下旬	5月
気温	+1.6 高	+0.9 高	+2.9 高	+1.8 高	-0.1 並	+1.2 高	+2.4 高	+1.1 高	-1.0 低	+1.3 高	+1.7 高	+0.7 高
降水	462 多	95 並	6 少	169 多	51 少	122 並	26 少	64 少	189 多	138 多	56 少	124 多
日照	44 少	96 並	148 多	100 並	74 少	113 多	131 多	106 多	60 少	93 並	137 多	98 並

日本海側

	3月上旬	3月中旬	3月下旬	3月	4月上旬	4月中旬	4月下旬	4月	5月上旬	5月中旬	5月下旬	5月
気温	+1.1 高	+0.7 高	+2.7 高	+1.6 高	-0.3 並	+0.7 並	+2.1 高	+0.9 高	-0.8 低	+1.1 高	+1.4 高	+0.6 並
降水	318 多	121 多	4 少	153 多	62 少	106 並	14 少	59 少	137 多	190 多	48 少	122 多
日照	36 少	88 並	171 多	104 並	72 少	104 並	133 多	103 並	71 少	89 並	135 多	100 並

オホーツク海側

	3月上旬	3月中旬	3月下旬	3月	4月上旬	4月中旬	4月下旬	4月	5月上旬	5月中旬	5月下旬	5月
気温	+1.8 高	+0.7 並	+3.2 高	+1.9 高	+0.4 並	+2.1 高	+2.6 高	+1.7 高	-2.5 低	+0.5 並	+2.3 高	+0.2 並
降水	225 多	172 多	3 少	128 多	12 少	136 多	13 少	51 少	368 多	61 並	85 並	163 多
日照	43 少	89 並	135 多	91 少	86 少	130 多	146 多	121 多	25 少	88 並	145 多	88 並

太平洋側

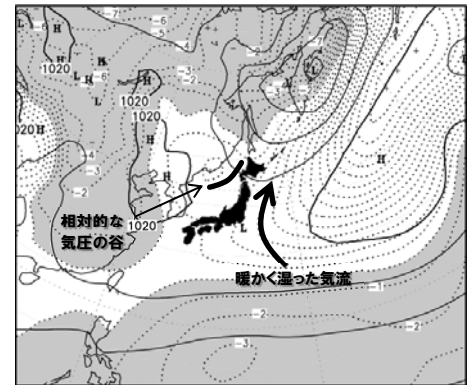
	3月上旬	3月中旬	3月下旬	3月	4月上旬	4月中旬	4月下旬	4月	5月上旬	5月中旬	5月下旬	5月
気温	+2.0 高	+1.3 高	+2.9 高	+2.1 高	-0.2 並	+1.3 高	+2.6 高	+1.2 高	-0.7 低	+1.9 高	+1.9 高	+1.1 高
降水	760 多	24 少	10 少	210 多	55 少	136 多	47 少	77 並	166 多	111 並	53 少	108 並
日照	53 少	110 多	130 多	99 並	70 少	117 多	120 多	102 並	63 少	102 並	137 多	100 並

3. 月毎の気象

(1) 3月『高温・多雨(少雪)・並照』 上旬は気象災害が相次ぎ、下旬は記録的高温

気象経過：この期間の天気は、上旬は冬型の気圧配置や低気圧の影響で雪や雨の降った日が多く、大荒れの天気となった日や、この時期としては記録的な大雨となって各地で融雪洪水害が発生した日もあった。中旬は天気が短い周期で変わった。下旬は高気圧の張り出しの中となって晴れた日が多く、28日には南から暖かい空気が流れ込んだ影響で、斜里町宇登呂の日最高気温が21.0度に達し、北海道内の3月の気温としては、1923年に帯広で記録した観測史上1位の値(20.3度)を更新した。

地上天気図：北海道付近は中国東北区の高気圧と千島の東の高気圧の張り出しの間で相対的な気圧の谷となり、低気圧が通過することが多かった。また、日本の東で高気圧が強く、南から暖かく湿った空気が流入しやすかった。



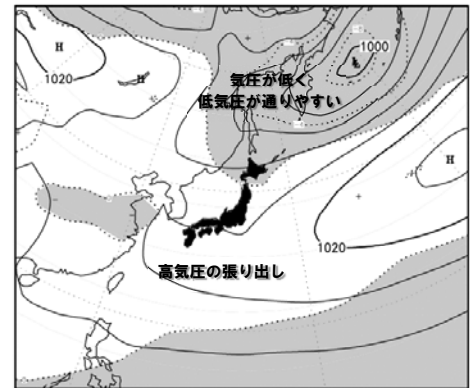
第4図 3月の地上天気図

図の見方は第2図bに同じ

(2) 4月『高温・少雨(少雪)・多照』 月の後半は暖かい空気に覆われ、30日に真夏日を観測

気象経過：この期間の天気は、上旬は気圧の谷の影響で雪や雨の降った日が多かった。中旬と下旬は高気圧の張り出しの中となって晴れた日が多かったが、低気圧や気圧の谷の影響で雨の降った日もあった。30日は南からの暖かい空気が流れ込んだ影響で、女満別空港の日最高気温が30.2度に達し、北海道内で今年初の真夏日となった。

地上天気図：日本の北は平年より気圧が低く、低気圧が通りやすかった。一方、本州方面には日本の東の高気圧が張り出し、北海道付近は南高北低の気圧配置となることが多く、南から暖かい空気が流入しやすかった。



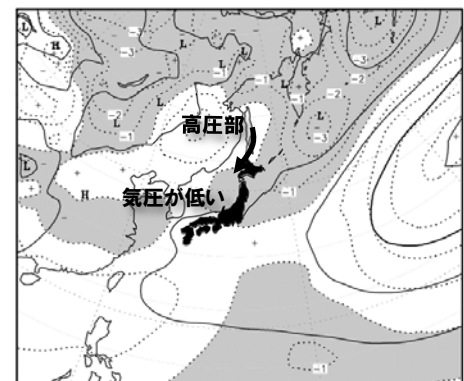
第5図 4月の地上天気図

図の見方は第2図bに同じ

(3) 5月『高温・多雨・並照』 上旬の低温・寡照が一転、下旬は高温・多照

気象経過：この期間の天気は、上旬は低気圧や気圧の谷の影響で雨の降った日が多く、中旬は短い周期で変わったが、下旬は高気圧の張り出しの中となって晴れた日が多かった。

地上天気図：北海道付近は平年より気圧が低く低気圧が通りやすかった。オホーツク海付近は高圧部となり、一時的にオホーツク海高気圧の影響を受けた。



第6図 5月の地上天気図

図の見方は第2図bに同じ

4. 今春の主な記録

(1) 今春に観測された統計開始以来3位までの記録

第3表 今春に観測された統計開始以来3位までの記録（北海道の主な22地点）

期間	要素	順位	地点	本年	平年差(比)	これまでの1位(年)	統計開始年
3月	月平均気温（高い）	第1位	広尾	2.3℃	+2.8℃	2.1 (2015)	1958
		第2位	釧路	1.1℃	+2.0℃	1.7 (2015)	1910
			根室	0.7℃	+2.0℃	1.2 (2015)	1880
			室蘭	3.0℃	+2.1℃	3.4 (2015)	1923
			苫小牧	2.1℃	+2.0℃	2.4 (2015)	1943
			浦河	2.4℃	+1.9℃	2.6 (2015)	1927
			月降水量（多い）	第1位	苫小牧	114.5 mm	221%
	第2位	広尾		258.5 mm	283%	389.0 (1975)	1958
	第3位	岩見沢		106.0 mm	186%	150.0 (2000)	1947
		帯広		129.0 mm	304%	279.0 (1975)	1892
		月最深積雪（大きい）		第2位	帯広	106 cm	230%
			函館	74 cm	255%	82 (1957)	1873
4月	月平均気温（高い）	第3位	室蘭	7.2℃	+1.4℃	7.4 (2002)	1923
5月	なし						
3-5月	3か月平均気温（高い）	第2位	帯広	6.9℃	+1.6℃	7.5 (2015)	1892
			釧路	5.2℃	+1.6℃	5.9 (2015)	1910
			広尾	6.5℃	+1.9℃	6.9 (2015)	1958
		第3位	岩見沢	7.0℃	+1.4℃	7.6 (2015)	1947
			根室	4.5℃	+1.4℃	5.3 (2015)	1880

注) 今春の記録が2位および3位の場合における「これまでの1位」は、6月1日現在も1位となる。

(2) 長期積雪(根雪)の初・終日、桜の開花

第4表 長期積雪(根雪)の初・終日(5月31日現在)

	長期積雪(根雪)の初日			長期積雪(根雪)の終日		
	今季	平年差	前年差	今季	平年差	前年差
稚内	11月15日	11日早	15日遅	3月28日	7日早	4日早
旭川	11月15日	7日早	17日遅	4月2日	6日早	2日早
網走	12月4日	1日遅	12日遅	3月27日	7日早	10日早
札幌	11月18日	16日早	18日早	3月30日	4日早	7日早
帯広	11月18日	22日早	18日早	3月30日	9日遅	7日遅
釧路	1月1日	2日遅	23日遅	3月9日	3日早	4日早
室蘭	11月30日	25日早	22日早	3月15日	9日遅	3日遅
函館	11月19日	27日早	26日早	3月20日	7日遅	3日遅

第5表 桜の開花日

	本年	平年差	前年差
稚内	5月12日	2日早	3日遅
旭川	4月30日	5日早	3日早
網走	5月2日	9日早	3日早
札幌	4月26日	7日早	2日早
帯広	4月27日	7日早	4日早
釧路	5月12日	5日早	2日早
室蘭	4月29日	7日早	3日早
函館	4月25日	5日早	2日早

(3) 2017年10月～2018年5月(雪の降る期間)の降雪量

第6表 北海道の主な22地点における、2017年10月～2018年5月の降雪量(cm)と平年比(%)

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	10～5月
稚内	--	95:179%	163:102%	171: 99%	103: 72%	80: 78%	1: 5%	--	613: 94%
北見枝幸	3	65: 82%	160: 99%	195:117%	122: 98%	87: 76%	15: 43%	--	647: 95%
羽幌	--	67:116%	177:103%	201:102%	107: 71%	52: 55%	1: 8%	--	605: 88%
雄武	--	53:126%	68: 60%	116: 94%	97:102%	70: 78%	3: 11%	--	407: 82%
留萌	1	56:119%	187:110%	160: 81%	129: 83%	43: 39%	1: 6%	--	577: 83%
旭川	7	93: 87%	189:100%	114: 66%	104: 79%	60: 54%	6: 26%	--	573: 78%
網走	--	6: 33%	70: 82%	80: 76%	55: 68%	32: 48%	3: 14%	--	246: 65%
小樽	--	68:151%	162:104%	182: 94%	106: 68%	46: 43%	6: 40%	--	570: 85%
札幌	--	62:194%	102: 77%	147: 85%	78: 53%	74: 76%	2: 18%	--	465: 78%
岩見沢	3	126:164%	231:116%	159: 77%	151: 94%	50: 56%	3: 21%	--	723: 97%
帯広	--	16:178%	63:134%	47: 80%	41:111%	65:155%	6: 67%	--	238:117%
釧路	--	--: 0%	22: 81%	19: 43%	28: 82%	20: 47%	13:144%	--	102: 63%
根室	--	--: 0%	21: 58%	29: 47%	51: 93%	24: 48%	14:100%	--	139: 62%
寿都	--	45:136%	131:108%	210:124%	140:104%	13: 16%	--: 0%	--	539: 99%
室蘭	--	6: 75%	51:134%	48: 74%	57:102%	17: 47%	--: 0%	--	179: 85%
苫小牧	--	1: 25%	43:159%	63:162%	43:110%	24: 89%	--: 0%	--	174:124%
浦河	--	4: 67%	28: 88%	36: 75%	62:168%	16: 73%	4:200%	--	150:102%
江差	--	14:127%	75:106%	119:105%	92:105%	6: 14%	--: 0%	--	306: 93%
函館	--	55:204%	155:180%	131:111%	143:159%	26: 49%	--: 0%	--	510:135%
倶知安	--	169:161%	324:129%	259: 89%	202: 89%	59: 40%	25: 74%	--	1038: 98%
紋別	--	16: 53%	76: 73%	116: 91%	96: 94%	61: 66%	2: 7%	--	367: 75%
広尾	--	--: 0%	76:101%	120: 98%	92: 98%	95: 95%	16: 57%	--	399: 93%
北海道平均		104%	105%	90%	96%	61%	38%		91%
日本海側		143%	106%	92%	82%	47%	20%		89%
ホツカ海側		74%	79%	95%	91%	67%	19%		79%
太平洋側		69%	117%	86%	115%	75%	71%		98%

5. 今春に発表した、天候に関わる気象情報※

なし

※ ここでの「気象情報」は、平年から大きくかけ離れた気象状況が数日間以上続き、社会的に大きな影響が予想される
ときなどに発表する情報を指します。

問い合わせ先：札幌管区気象台地球環境・海洋課
電話：011(611)6174